

2025年3月期 第3四半期
9 M FY2024

決算概要



Enhancing planetary health

2025年2月12日

日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

目次

- 2025年3月期 第3四半期 実績
- 2024年度 予想
- 参考資料



2025年3月期 第3四半期 実績



Enhancing planetary health

ハイライト

- インドネシアの大型案件受注（第4四半期計上予定）により受注高は目標に向けて進捗
- 通期業績予想を下方修正
 - ✓ 台湾LNGターミナル：一部建設用地の引渡し遅延
 - ✓ サウジアラビア2案件：サブコントラクターの財務的困難
 - ✓ カナダLNG：建設工事作業員の追加動員
 - ✓ 新規プロジェクトの受注時期遅れに伴う不稼働費用負担

連結損益計算書

【億円】

	9M FY2023	9M FY2024	前年同期比	
売上高	6,010	6,041	+30	+1%
売上総利益	323	31	△ 291	△ 90%
利益率	5.4%	0.5%	△ 4.9pt	
営業利益・損失	92	△ 192	△ 284	△ 307%
経常利益	233	1	△ 231	△ 99%
親会社株主に帰属する 四半期純利益・純損失	106	△ 39	△ 145	△ 137%
1株当たり四半期純利益・純損失	44.08円	△ 16.43円		

セグメント情報

【億円】

		9M FY2023	9M FY2024	前年同期比	
総合エンジニアリング	売上高	5,614	5,613	△ 0	△ 0%
	セグメント利益・損失	86	△ 198	△ 285	△ 329%
	利益率	1.5%	△ 3.5%	△ 5.0pt	
機能材製造	売上高	367	397	+29	+8%
	セグメント利益	54	58	+3	+7%
	利益率	14.9%	14.7%	△ 0.2pt	
その他	売上高	28	29	+1	+4%
	セグメント利益	7	7	+1	+2%
	利益率	27.1%	26.6%	△ 0.5pt	
調整額	セグメント利益・損失	△ 56	△ 59	△ 3	-

セグメント情報

マーケット環境

・総合エンジニアリング事業

天然ガス（LNG含む）やサステナブル分野を中心に顧客の設備投資計画は多数存在。一方で、金利上昇やインフレによって顧客の初期投資額は上昇傾向にあり、顧客は引き続き投資決定に慎重。

・機能材製造事業

触媒分野は、燃料需要の増加などを背景にFCC触媒を中心に国内外で概ね堅調に推移（一部製品で期ズレ）。

ファインケミカル分野は、電子材や半導体関連市場が回復傾向。

ファインセラミックス分野は、半導体製造装置市場が復調していることに加え、EV向け高熱伝導窒化ケイ素基板の需要も引き続き旺盛。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i) 受注高

【億円】

	9M FY2023	9M FY2024
海外	1,044	3,599
国内	1,425	565
合計	2,469	4,165

9M FY2024
主要受注案件

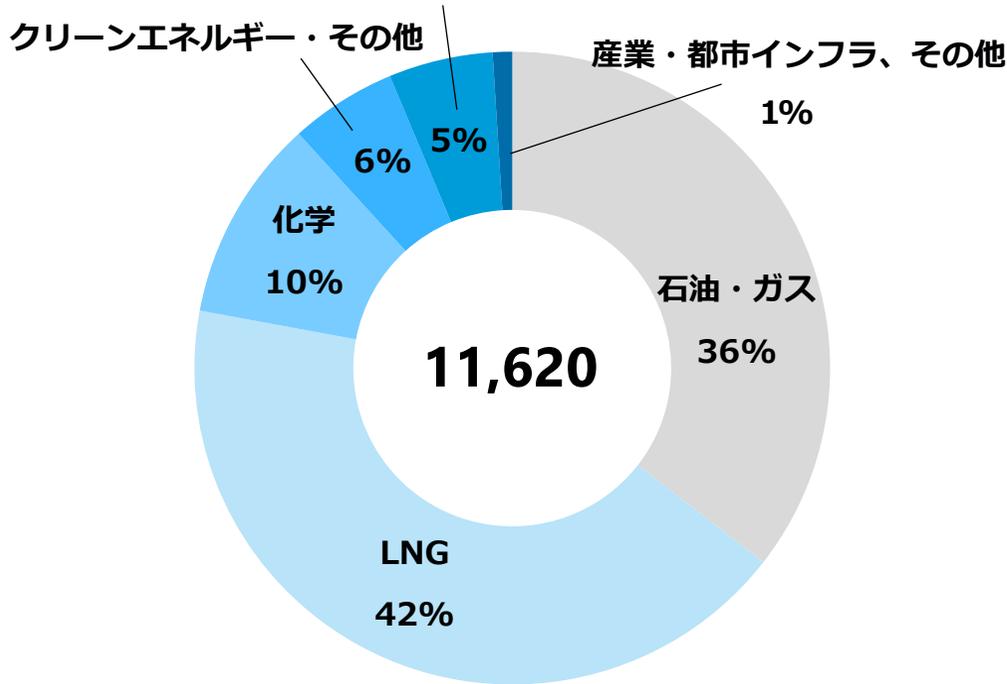
大型低炭素LNGプラント(UAE)

セグメント情報

ii) 受注残高 (2024年12月末)

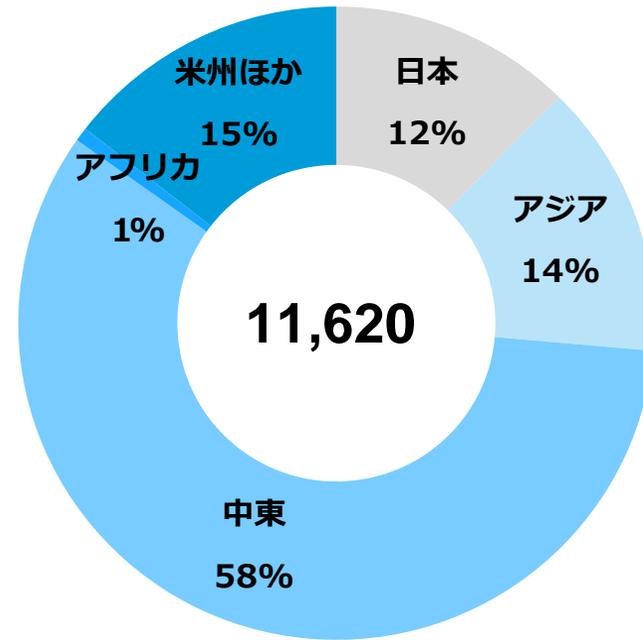
分野別

ヘルスケア・ライフサイエンス 【億円】



地域別

【億円】



9M FY2024
受注残高
主要案件

1,000億円以上

大型低炭素LNGプラント (UAE)
原油・ガス分離設備 (サウジアラビア)
製油所近代化 (イラク)

500億円以上

ニアショアFLNGプラント (マレーシア)
大型エチレン製造プラント(米国)
LNG (カナダ)

300億円以上

NGLプラント増強工事 (サウジアラビア)
バイオ医薬品及びmRNAワクチン原薬 (国内)

連結財政状態

【億円】

	2024年3月末	2024年12月末	増減
流動資産	6,035	5,725	△ 310
固定資産	1,887	2,038	+151
総資産	7,922	7,763	△ 159
流動負債	3,507	3,516	+9
固定負債	536	448	△ 88
純資産	3,878	3,798	△ 79
自己資本比率	48.7%	48.7%	△ 0.0pt
JVキャッシュ 当社持分	1,481	1,054	△ 426



2024年度 予想

Enhancing planetary health



2024年度の業績見通し

【億円】

	FY2023 実績	修正前	修正後	増減	
受注高(※1)	2,938	9,700	9,700	-	-
売上高	8,325	8,300	8,300	-	-
売上総利益	106	580	170	△ 410	△ 71%
利益率	1.3%	7.0%	2.0%	△ 5.0pt	
営業利益・損失	△ 189	260	△ 140	△ 400	△ 154%
経常利益	3	340	60	△ 280	△ 82%
親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失	△ 78	230	△ 40	△ 270	△ 117%
1株当たり配当金	40.0円	40.0円	40.0円	-	
換算レート(米ドル)	151.41円	145.00円	150.00円(※2)	+5円	

(※1)総合エンジニアリング事業

(※2)第4四半期の想定レート

2024年度 セグメント別 業績見通し

【億円】

		FY2023 実績	修正前	修正後	増減	
総合エンジニアリング	売上高	7,731	7,700	7,680	△ 20	△ 0%
	セグメント利益・損失	△ 220	260	△ 160	△ 420	△ 162%
	利益率	△ 2.9%	3.4%	△ 2.1%	△ 5.5pt	
機能材製造	売上高	520	520	540	+20	+4%
	セグメント利益	72	70	80	+10	+14%
	利益率	13.9%	13.5%	14.8%	+1.3pt	
その他	売上高	74	80	80	-	-
	セグメント利益	20	20	20	-	-
	利益率	26.9%	25.0%	25.0%	-	
調整額	セグメント利益・損失	△ 61	△ 90	△ 80	+10	-

参考資料

参考（地域別売上高、受注高）

売上高

【億円】

	9M FY2023	9M FY2024
日本	1,543 (25.7%)	1,520 (25.2%)
アジア	779 (13.0%)	1,123 (18.6%)
中東	2,256 (37.5%)	2,151 (35.6%)
アフリカ	213 (3.5%)	23 (0.4%)
米州ほか	1,218 (20.3%)	1,222 (20.2%)
合計	6,010 (100.0%)	6,041 (100.0%)

受注高（総合エンジニアリング事業）

【億円】

	9M FY2023	9M FY2024
日本	1,425 (57.7%)	565 (13.6%)
アジア	445 (18.0%)	197 (4.7%)
中東	196 (8.0%)	2,897 (69.6%)
アフリカ	30 (1.2%)	84 (2.0%)
米州ほか	371 (15.1%)	419 (10.1%)
合計	2,469 (100.0%)	4,165 (100.0%)

参考（地域別、分野別受注残高）

地域別（総合エンジニアリング）

【億円】

	9M FY2024	
日本	1,436	(12.4%)
アジア	1,630	(14.0%)
中東	6,788	(58.4%)
アフリカ	83	(0.7%)
米州ほか	1,681	(14.5%)
合計	11,620	(100.0%)

分野別（総合エンジニアリング）

【億円】

	9M FY2024	
エネルギー・トランジション		
石油・ガス	4,125	(35.5%)
LNG	4,926	(42.4%)
化学	1,204	(10.4%)
クリーンエネルギー・その他	631	(5.4%)
ヘルスケア・ライフサイエンス	616	(5.3%)
産業・都市インフラ、その他	115	(1.0%)
合計	11,620	(100.0%)

参考（3Qまでの主な取り組み – 総合エンジニアリング事業）

受注目標（9,700億円）達成に向けて注力

海外

※ インドネシア法人が契約主体のため、当社の4Qに計上予定

- エネルギーソリューションズ分野において、UAE向け大型低炭素LNGプラントのEPC契約、モザンビーク向けLNGプラントのFEED契約などを受注。
- サステナブルソリューションズ分野では、マレーシア向けグリーン水素/MCH製造プラントのFEED契約（MCHは前年度に受注計上済み）、マレーシア向けCCS事業のFEED契約、インドネシア向けタングーEGR/CCUSのEPC契約※などを受注。
- ファシリティソリューションズ分野では、成長市場である先端技術産業分野において、Exyteシンガポール社との協業を軸に、東南アジアを中心に積極的な営業活動を展開。
- 一方で遂行中プロジェクトにおいて、外的要因による追加費用を計上（「業績予想修正のお知らせ」を参照）。

国内

- 複数のメンテナンス案件、CCS事業に係るFEED案件、製油所等の小規模改造工事などを受注。
- 国内における低・脱炭素分野や資源循環分野での案件増加に対応していくため、新たなエンジニアリング拠点を長崎県に設立。
- 静岡県で低・中分子医薬品の合成原薬製造棟が竣工。

<低・脱炭素化や循環型社会の実現に向けた取り組み>

※ 浮体式海洋石油・天然ガス生産貯蔵積出設備

- マレーシア天然ガス海上生産設備やブラジルFPSO※向けに、メタン等の温室効果ガス排出量定量化や削減手法検討などのプロジェクトを実施。
- SAF事業では製造設備が完工、2025年4月から供給開始予定。廃食用油の供給網拡大、SAF製造体制の国際認証を取得。
- 北海道や神奈川県でペロブスカイト太陽電池の実証試験を実施。

参考（3Qまでの主な取り組み – 機能材製造事業）

触媒・ファインケミカル分野

- 触媒分野は、一部製品で納入時期が来期に先送りされているものの、燃料需要の増加などを背景にFCC触媒を中心に国内外で概ね堅調に推移。定期修繕に伴う交換需要により水素化処理触媒、ケミカル触媒の製品需要も比較的堅調。脱硝触媒原料販売が海外で減速。
- ファインケミカル分野は、電子材や化粧品、半導体関連市場の回復により、フラットパネルディスプレイ向け反射防止材やハードディスク向け研磨材などの製品需要も増加傾向。
- 昨年度取得した北九州および新潟事業所の新規事業用地における設備投資計画を策定中。合成燃料用触媒及びケミカルリサイクル用触媒・吸着材のほか、高速通信用材料や半導体用機能性研磨粒子などの新規ファインケミカル製品の生産拡大を目指す。

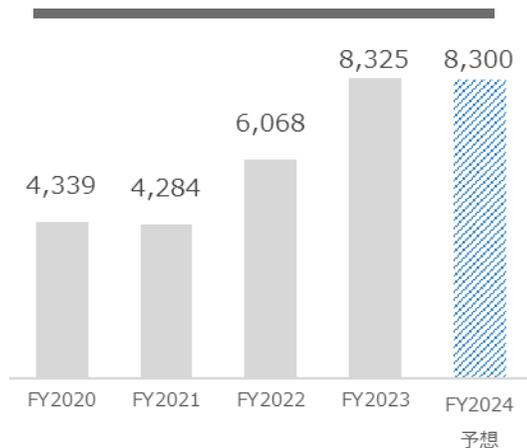
ファインセラミックス分野

- 半導体市場は生成AI向けを中心に回復に向かい、薄膜回路基板の需要が増加。半導体製造装置部品の需要も回復傾向。一方、装置部品の新規受注は市場の回復とタイムラグがあり、引き続き社内生産計画や体制の見直しを継続。
- EV向け高熱伝導窒化ケイ素基板の需要拡大は継続。高熱伝導窒化ケイ素基板の増産などに向けて、新工場を宮城県内で建設中。2025年度に本格操業開始を予定。
- 高熱伝導窒化ケイ素基板の独自の製造技術や環境功績が評価され、米セラミックス協会の2024 Corporate Environmental Achievement Award（企業環境功績賞）を受賞。
- 新規事業「骨再生材料リン酸八カルシウム（OCP）」の製品化に注力。

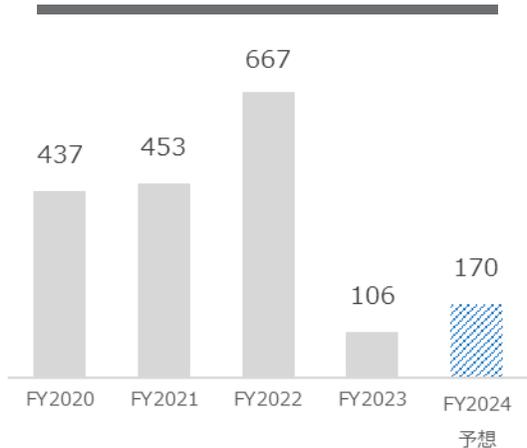
参考（業績推移）

【億円】

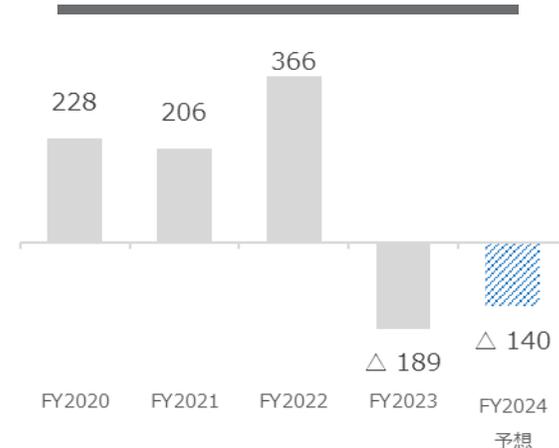
売上高



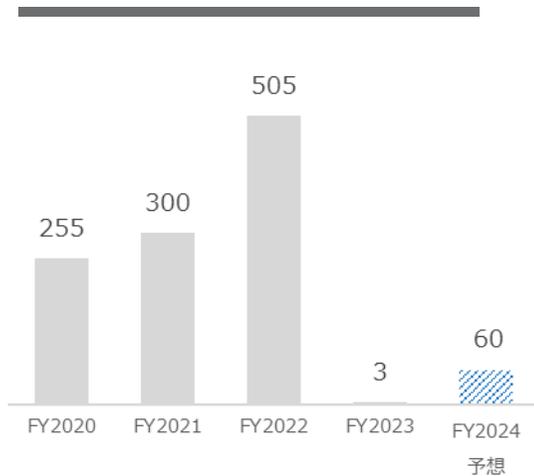
売上総利益



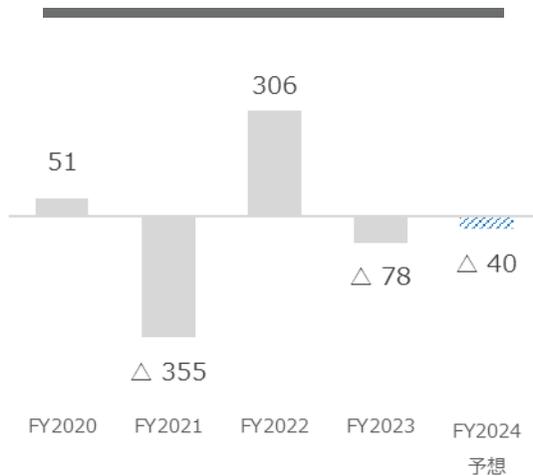
営業利益・損失



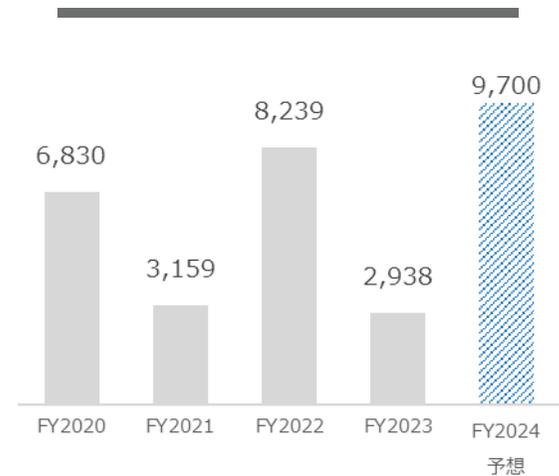
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失



受注高



将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com